

拠出金名： IGBP拠出金

国際機関名	地球圏・生物圏国際協同研究計画 (略称)IGBP					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	文部科学省 研究開発局 海洋地球課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成15年度	18,300	150		1\$ = 122円	(2003年)	0
平成14年度	18,300	150		1\$ = 122円	(2002年) 8.7	0
平成13年度	16,050	150		1\$ = 107円	(2001年) 11.5	0
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年のもの	
1位	米国		23.3			
2位	ドイツ		9.5			
3位	日本		8.7			
4位	スウェーデン		7.5			
5位	英国		5.1			
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
日本学術会議は、本国際協力事業の重要性と我が国がこれまでに果たしてきた実績からして、我が国が今後もIGBPに参画することの意義は極めて大きいとして、第120回総会において平成12年以降も引き続きIGBPへの拠出と研究の促進について万全の措置を講じることを勧告した。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
事務局の運営に関しては、合理化等をおこないつつその機能の拡大(広報活動など)行っているが、その経費の増加分に関しては、単年度ベースでの助成の増加や民間助成への応募などで対応している。						
邦人職員数 うち幹部(D1) 以上	0人 うち 0人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		10人 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注) 我が国と各国とは会年度が異なるため、拠出率については暦年(2001年～2003年)。